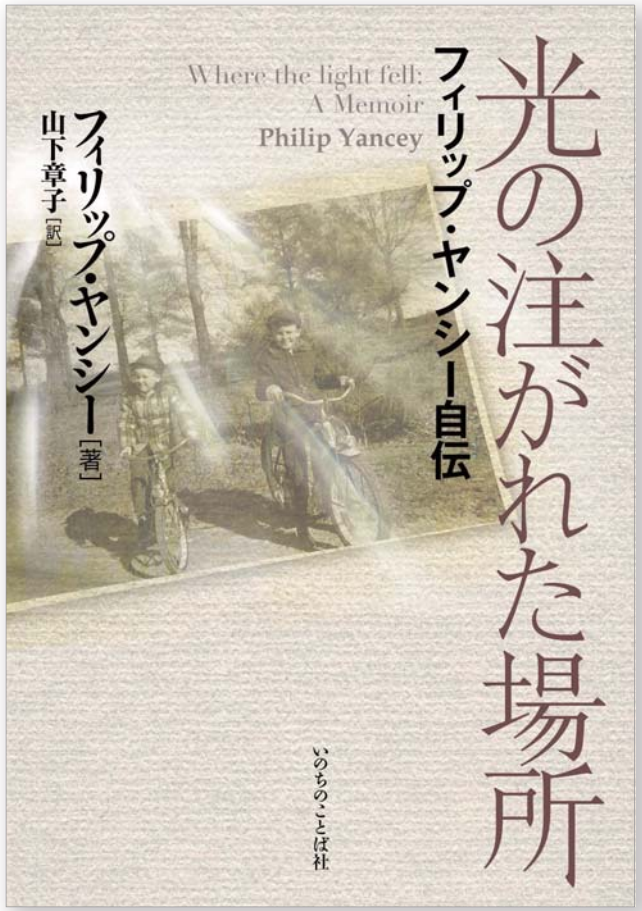

光の注がれた場所

フィリップ・ヤンシー自伝

フィリップ・ヤンシー 著

山下章子 訳

「痛むとき、神はどこにいるのか」「祈りは本当に聞かれるのか」という問いかけを持つにいたった理由がここに。 苦しみと恵みについて多くの書物を著してきた米国クリスチャン・ジャーナリストが自らの半生を回想する。記憶にない父親の死の秘密、過剰なまでの母親の期待、トレーラーハウスでの貧しい生活、白人至上主義に立つ教会とバイブルカレッジ……。そうした状況をどのように乗り越え、心の癒やしをたどってきたかを語る。

四六判 424頁 定価2,860円（本体2,600円＋税）
ISBN978-4-264-04410-9 C0016
いのちのことば社　卸コード 12305

著者プロフィール　**フィリップ・ヤンシー**

ウィートンカレッジ大学院でコミュニケーション学と英語学の学位を取得。『クリスチャニティ・トゥデイ』誌の編集顧問を務め、同誌に記事やコラムを書いている。クリスチャニティ・トゥデイ者の出版物「ブックス・アンド・カルチャー」の共同編集議長でもある。邦訳著書、多数。